Lenovo C3 Series
ユーザーガイド

Version 2.1　2009.12

CE

lenovo

重要な安全上の注意

本書をご使用になる前に、必ず本製品に関連する安全上の注意をすべてお読みになり、ご理解ください。最新の安全上の注意については、本製品に付属する「安全上の注意と保証についての手引き」を参照してください。この安全上の注意をお読みになり、ご理解いただくことにより、人身傷害や製品への損傷のリスクを軽減することができます。

危険：非常に危険または死を招く状態に注意する必要があります。

注記：プログラム、デバイス、またはデータを損傷する可能性に注意する必要があります。

注記：注意を促す重要な情報を提供します。

目次

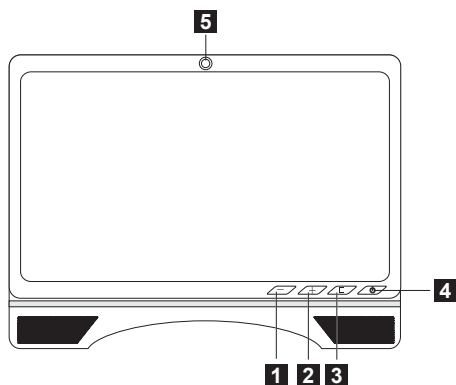
1
第 1 章　コンピュータハードウェアの使用

1
2
3
4
5

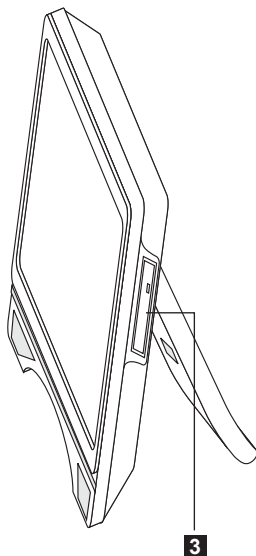
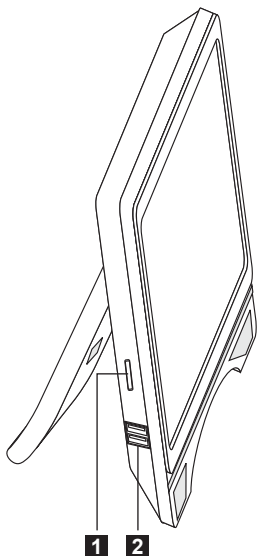
この章には以下のトピックが含まれています。

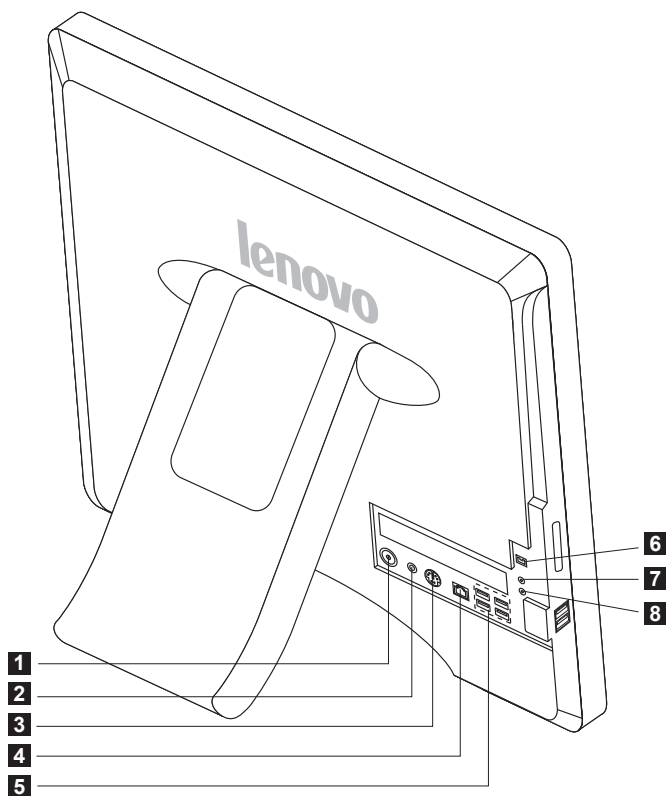
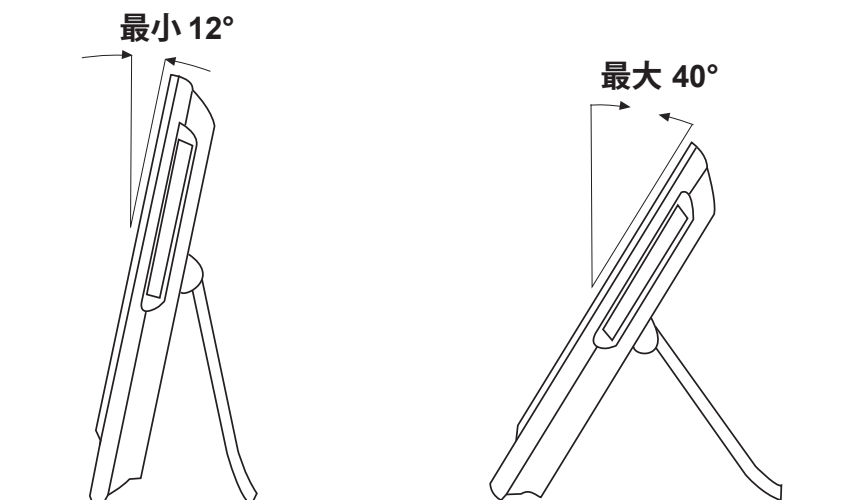
- コンピュータハードウェアの概要
- コンピュータ接続に関する情報

注記：本章に記述されている内容は、コンピュータのモデルや構成により、ご使用のコンピュータと異なる場合があります。

1.1 正面図

1 輝度減少ボタン
2 輝度増加ボタン
3 LCD On/Off
4 電源ボタン
5 カメラ

1.2 コンピュータの右左側面図

注記：コンピュータの換気口をふさがないようにご注意ください。換気口をふさぐと過熱の恐れがあります。

1 メモリカードリーダー
2 USB ポート（2）
3 光学式ドライブスロット

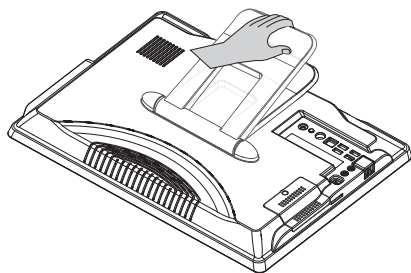
1.3 コンピュータの背面図

1 電源コネクター
2 TV チューナー（一部のモデルのみ）
3 PS/2 キーボードコネクター
4 イーサネットコネクター
5 USB ポート（4）
6 IEEE 1394 コネクター
7 ヘッドホンコネクター
8 マイクロホンコネクター

1.4 コンピュータスタンド

スタンドを使用して、ディスプレイをお好みの位置に調節します。スタンドは垂直方向から 12 度から 40 度の間で回転します。

スタンドはコンピュータを安定に保ちます。取り外すことはできません。

注記：

1. コンピュータスタンドは、常時取り付けたままにしてシステムの安定を最大限に保つ必要があります。
2. コンピュータの角度は、垂直方向から少なくとも 12°以上になるようにします。それ未満にすると、コンピュータが不安定になり、倒れる恐れがあります。

コンピュータスタンドを開くには、以下の操作を行います。

1.5 コンピュータの接続

コンピュータを接続するには、以下の情報を参照してください。

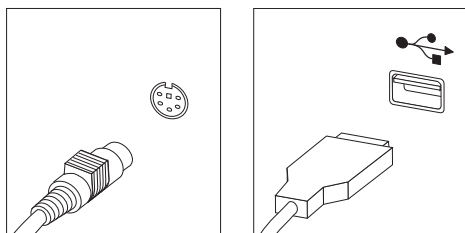
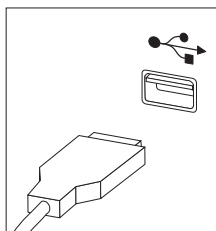
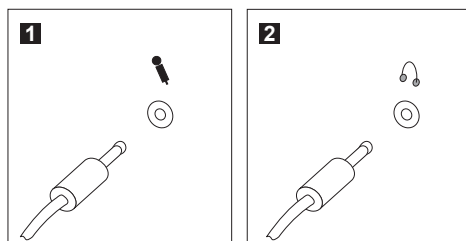
- コンピュータ背面にある小さなコネクタアイコンを探します。アイコンとコネクタを一致させます。

注記：このセクションで説明するすべてのコネクタが、ご使用のコンピュータには備わっていない場合もあります。

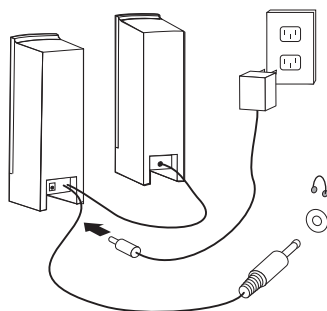
1.5.1 機器を電源コンセントに接続する前に定格電圧をチェックし、使用可能な電源が、必要な電圧および周波数を満たしていることを確認します。

コンピュータが AC アダプタを使用する場合は、以下にご注意ください。

注記：このデバイスでの使用が許可された Lenovo 提供の AC アダプタ以外は使用しないでください。その他の AC アダプタを使うと火災や爆発を起こす恐れがあります。

1.5.2 キーボードケーブルを該当するキーボードコネクタ（PS/2 コネクタまたは USB コネクタ）に接続します。

1.5.3 マウスケーブルを該当するマウスコネクタ（USB コネクタ）に接続します。

1.5.4 オーディオデバイスがある場合は、以下の指示に従って取り付けます。

1 マイクロホン サウンドを録音する、または音声認識ソフトウェアを使用する場合は、このコネクタを使用してマイクロホン（別売）をコンピュータに接続します。

2 ヘッドホン 周囲の邪魔にならないように音楽またはその他のサウンドを聴く場合は、このコネクタを使用してヘッドホン（別売）をコンピュータに接続します。

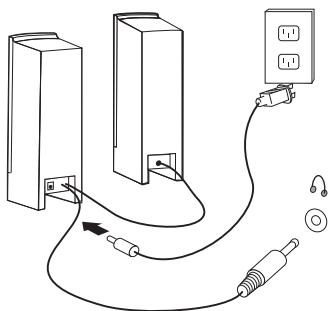
1.5.5 アダプタ電源式のスピーカーを取り付ける場合は、次の手順に従ってください。

（この図は略図であり、スピーカーの実際の形状を示すものではありません。）

a. 必要に応じて、スピーカー間をケーブルで接続します。スピーカーには、このケーブルが固定されている場合があります。

b. 必要に応じて、ケーブルをスピーカーに接続します。スピーカーに、このケーブルが固定されている場合もあります。

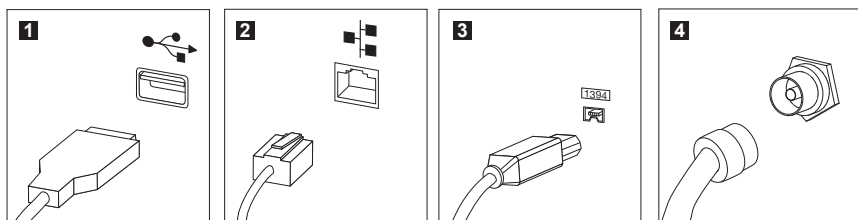
c. スピーカーをコンピュータのヘッドホンポートに接続します。

d. アダプタをコンセントに接続します。

1.5.6 アダプタ付きの高性能スピーカーを取り付ける場合は、次の手順に従ってください。

（この図は略図であり、スピーカーの実際の形状を示すものではありません。）

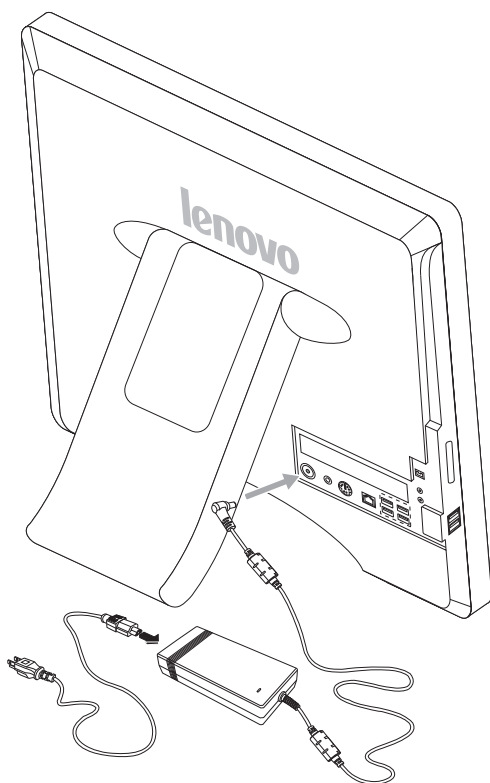
a. 必要に応じて、スピーカー間をケーブルで接続します。スピーカーに、このケーブルが固定されている場合があります。
b. 必要に応じて、ケーブルをスピーカーに接続します。スピーカーには、このケーブルが固定されている場合もあります。
c. スピーカーをコンピュータのヘッドホンポートに接続します。
d. アダプタをコンセントに接続します。

注記：モデルにより、外部スピーカーが装備されていない場合があります。

1.5.7 他にも追加のデバイスがあれば、すべて接続します。使用中のコンピュータが、以下のコネクタをすべて備えているとは限りません。

1	**USB コネクタ**	USB で接続するデバイスは、このコネクタを使用します。
2	**ネットワークアダプタコネクタ**	コンピュータをイーサネットタイプのローカルエリアネットワークに接続するには、このコネクタを使用します。

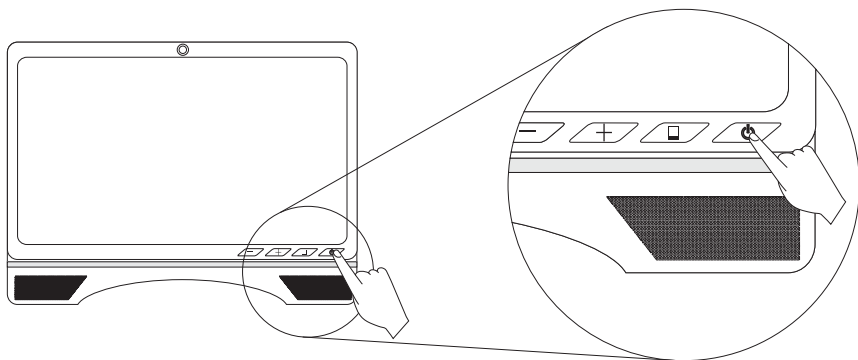
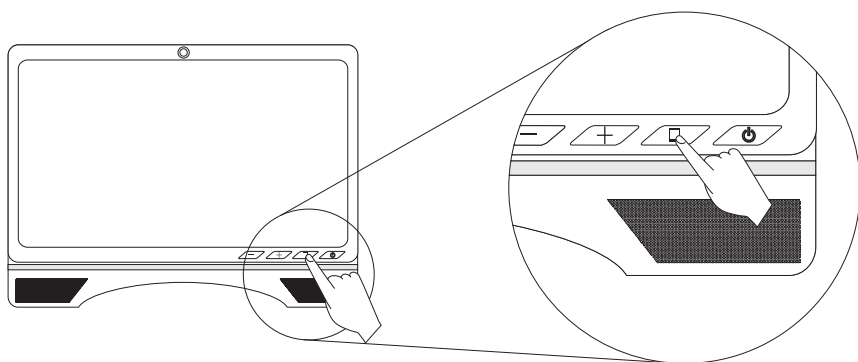
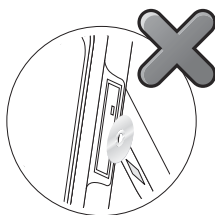
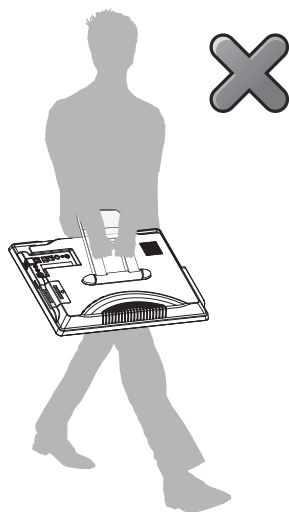
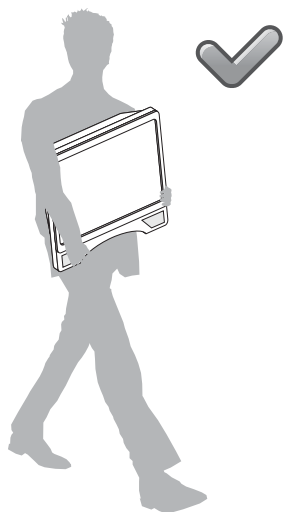
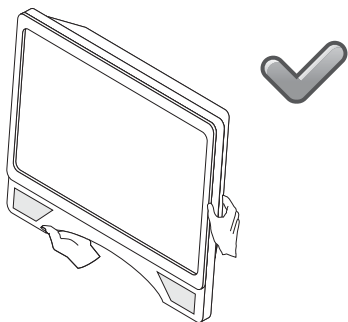
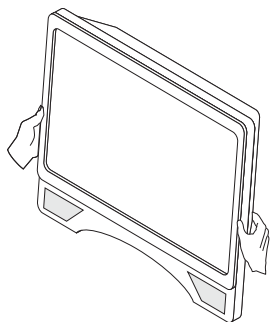
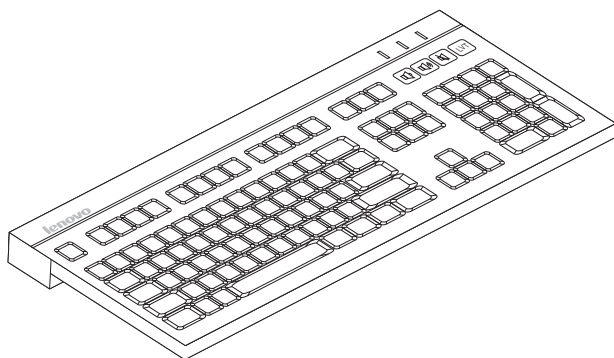
3	**IEEE 1394**	デジタルオーディオデバイスおよびスキャナなどの家庭用電化製品に接続するには、このコネクタを使用します。
4	**TV チューナーコネクタ**	オプションの TV チューナーカードを備えたシステムにのみ対応しています。

1.5.8 電源コードを接地されたコンセントに正しく接続します。

1. 電源アダプタコードをコンピュータの背面に接続します。
2. 電源コードを AC アダプタに接続します。
3. 電源コードをコンセントに接続します。

1.5.9 コンピュータにメモリカードリーダーが装備されている場合は、以下のメディアの読み書きが可能です。

MS/MS pro/xD/SD/SD pro/MMC

1.6 コンピュータの使用に関する重要な情報

コンピュータをオンにするには、画面右下の電源ボタンを押します。

注記：ボタンを押すと、**LCD ON/OFF インジケータ**が点灯します。誤ったボタンを押すと、画面がオフになる場合があります。その場合は、再び電源をオンにしてください。

3 インチの光ディスクをドライブスロットに挿入しないでください。挿入すると、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

コンピュータを持ち運ぶ場合は、しっかり抱えるようにして持ってください。

1.7 キーボードおよびマウス（有線）

🔉 —— 音量小

🔊 —— 音量大

🔇 —— ミュート

LVT —— Windows オペレーティングシステムを起動した後、「LVT」キーを押してプログラムを起動します。このプログラムでは、Lenovo コアテクノロジーを搭載する Lenovo ホーム PC 用に設計された、この多機能ソフトウェアの使用について学習したり、コンピュータにインストールされている他のプログラムを使用したりできます。

注記：

- モデルにより、LVT プログラムが搭載されていない場合があります。
- LVT プログラムが搭載されていないモデルの場合、キーボードの LVT キーは機能しません。

F2 —— ご使用のコンピュータには、Lenovo Rescue System がインストールされています。このプログラムについてもっと知るには、コンピュータを起動し、Lenovo ロゴが表示されたら「F2」キーを押して、Lenovo Rescue System を開いてください。

1.8 リモコンの使用（リモコンは一部のモデルにのみ装備）

リモコン（一部のタイプのコンピュータにのみ付属）は、シャーシのリモコンレシーバーと連携して機能します。リモコンの角度を適切に調整してください。

リモコンのボタン ：

ボタン	説明
▲	上
▼	下
◀	左
▶	右
OK	確認
	戻る
	情報
	番組ガイド（この機能は、Microsoft Windows オペレーティングシステムでは使用できません。）
	現在選択されているチャンネルのライブ放送を表示
	Windows Media Center の録画済み TV ページを表示
	再生
	一時停止
	停止
	録画
	早送り
	巻戻し
SKIP	スキップ
REPLAY	リプレイ

	Windows Media Center を起動
	音量調節
	チャンネル切替
	ミュート
	DVD メニュー
	電源（スタンバイ）
0~9	数字（文字）ボタン
#	# キー
*	* キー
CLEAR	クリア
ENTER	決定

2

第 2 章

Rescue System の使用

この章には以下のトピックが含まれています。

- OneKey Recovery
- ドライバおよびアプリケーションのインストール
- システムのセットアップ
- システムのバックアップ
- システムのリカバリ
- リカバリディスクの作成

注記：このプログラムを使用すると、データが失われます。

- **OneKey Recovery** を使用すると、コンピュータの C ドライブを出荷時のデフォルト設定または、最新のシステムバックアップ状態に復元することができます。この操作を行うと、ドライブ C 上の既存データはすべて失われますが、ハードディスクドライブの他のパーティションの内容および形式は変更されません。
- Windows Recovery DVD を使用してオペレーティングシステムをインストールし、**OneKey Recovery** を使用してバックアップを行う場合は、C 区画を **NTFS** 形式でフォーマットして、オペレーティングシステムを C 区画にインストールする必要があります。これを行わない場合は、**OneKey Recovery** システムは実行できません。

1 2 3 4 5

サービス区画に関する注意：

Rescue System が使用するファイルおよび関連データは、サービス区画に保存されます。この区画を削除すると、Rescue System が使用できなくなります。詳細は、以下の指示を参照してください。

「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピューターの管理」→「ディスクの管理」の順に選択すると、サービス区分が表示されます。この区分は削除できません。

注記：Rescue System が使用するリカバリファイルおよび関連データは、サービス区画に保存されます。Lenovo 認定サービス担当員以外の者によりサービス区画が削除された、または損傷を受けた場合、それに起因するいかなる損失に対して、Lenovo 社は一切の責任を負いません。

2.1 OneKey Recovery

OneKey Recovery は、使いやすいアプリケーションです。コンピュータをシステムのデフォルト状態、または前回バックアップした状態に復元します。

詳しい操作手順

1. コンピュータを起動します。Lenovo ロゴが表示されたら、キーボードの **F2** キーを押して **Rescue System** を起動し、**OneKey Recovery** を選択します。

注記：System Recovery は、C ドライブ上のすべてのデータを上書きします。データの損失を避けるため、System Recovery を実行する前に必ずバックアップを行ってください。

2. 画面の指示に従って、リストアするバックアップタスクと、オペレーションシステムをインストールするディスクを選択してから、**「次へ」**を押して復元作業を開始します。
3. システムリカバリの処理中は、何もせずにお待ちください。リカバリ処理に割り込まないでください。
4. システムが正常にリカバリされると、コンピュータを再起動するよう要求されます。コンピュータを再起動して、システムを開始します。

2.2 ドライバおよびアプリケーションのインストール

Rescue System のドライバおよびアプリケーションのインストール機能は、ユーザーが Lenovo ハードウェア購入時に付属されたすべての Lenovo アプリケーションやドライバを便利に再インストールするための機能です。

方法 1：自動インストール

コンピュータを起動します。Lenovo ロゴが表示されたら、キーボードの **F2** キーを押して **Rescue System** を起動し、**ドライバおよびアプリケーションのインストール**を選択します。

画面に表示される案内に従って Lenovo ドライバおよびアプリケーションのインストール機能をインストールします。**「Install（インストール）」**をクリックして Lenovo ドライバおよびアプリケーションのインストール機能のインストールを開始します。

システムが再起動します。システムが再起動した後も、インストール処理は完了するまで続行されます。

方法 2：手動インストール

Windows システムで、**「スタート」→「すべてのプログラム」→ Lenovo → Lenovo ドライバおよびアプリケーションのインストール**の順にクリックします。インストール手順を開始したら、表示される案内に従ってすべてのドライバおよびソフトウェアをインストールします。

注記：

1. すでにコンピュータにインストールされているソフトウェアは、インストールしないことをお勧めします。
2. オペレーティングシステムにアクセスする前に、「ドライバおよびアプリケーションのインストール」が自動的にインストールされたことを確認してください。確認後、手動インストール機能を使用することができます。

2.3 システムのセットアップ

システムのセットアップは、Lenovo Rescue のネットワーク構成を設定し、システムが Rescue System でインターネットに接続できるかを確認します。さらに、システムのセットアップは Lenovo Rescue System 用のすべてのパスワードを設定および管理します。

2.3.1 起動

コンピュータを起動します。Lenovo ロゴが表示されたら、**F2** キーを押して **Rescue System** を起動します。その後、**System Setup（システムのセットアップ）**を選択します。

2.3.2 ネットワークの設定

コンピュータのネットワークアクセスモードに応じて、ネットワーク接続モードで「ADSL」または「LAN 接続」を選択します。

1. 「ADSL」を選択した場合は、ADSL 接続のユーザー名およびパスワードを入力します。
2. 「LAN 接続」を選択した場合は、LAN の IP アドレスおよびプロキシーサーバーを設定します。

2.3.3 パスワードの管理

パスワードの管理を使うと、Lenovo Rescue System のパスワードを設定して管理できます。

初期状態では、パスワードは設定されていません。

パスワードの管理への初回アクセス時にパスワードを設定します。パスワードを設定したくない場合は、システムに直接アクセスします。

2.4 システムのバックアップ

システム区画をイメージファイルにバックアップします。システムに障害が発生した際には、このイメージファイルからシステムを復元できます。

Windows システムで、**「スタート」→「すべてのプログラム」→ Lenovo → Lenovo Rescue System** の順にクリックします。
処理が始まったら、**「システムのバックアップ」**をクリックし、表示される案内に従ってシステム区画をバックアップします。

2.5 システムのリカバリ

コンピュータを再起動して、システムのリカバリ環境に切り替えます。システムのバックアップポイントまたは初期状態のいずれかを選択して復元します。

2.6 リカバリディスクの作成

現在のシステムから、起動可能なリカバリディスクを作成します。このリカバリディスクを使って、コンピュータを再起動し、復元処理を実行できます。

Windows システムで、**「スタート」→「すべてのプログラム」→ Lenovo → Lenovo Rescue System** の順にクリックします。
処理が始まったら、**「リカバリディスクの作成」**をクリックして、現在のシステムから起動可能なリカバリディスクを作成します。

表示される案内に従ってリカバリディスクを作成します。

第 3 章

コンピュータソフトウェアの使用

1
2
3
4
5

この章には以下のトピックが含まれています。

➢ コンピュータソフトウェアの指示

注記：各機能のインターフェースは、ご購入いただいたコンピュータモデルに付属する実際のソフトウェアによって異なります。

3.1 Power2Go — ディスクの書き込み

（このソフトウェアは、書き換え可能な光学式ドライブが装備されている場合にのみ利用できます。）

Power2Go は、ディスク書き込みソフトウェアです。このソフトウェアは、ファイルを CD または DVD に簡単に保存するための各種書き込みツールを備えています。

Power2Go では、一般的なデータディスク、音楽ディスク、ビデオ / 写真ディスク、および混合ディスクを作成できます。また、ディスクの複製もサポートしています。

注記 ：このソフトウェアは VCD オーディオおよびブルーレイディスク DVD への書き込みはサポートしていません。

3.1.1 起動

1. **「スタート」**から**「すべてのプログラム」→ Lenovo → Power2Go → Power2GoExpress** メニューの順に選択して書き込みプログラムを起動します。
2. 書き込みソフトウェアを起動するショートカットは、デスクトップにあるブロックのアイコンです。書き込みプログラムは、記録するファイルをデータ、音楽、またはビデオアイコンにドラッグアンドドロップするだけで使用できます。

3.1.2 書き込みソフトウェアの開始

1. 「スタート」メニューから**「すべてのプログラム」→ Lenovo → Power2Go → Power2Go** の順に選択して書き込みプログラムを起動します。
2. タスクリストから書き込みタスクを選択します。次に、ファイルの書き込み処理を開始します。
3. ディスクタイプから書き込むメディアを選択し、OK（承認）アイコンをクリックして、書き込み用インターフェイスにアクセスします。
4. ソース選択ボックスから書き込むファイルを選択し、Add Files（ファイルの追加）アイコンをクリックして、ファイルをディスク編集欄に追加します。Burn（書き込み）アイコンをクリックして書き込み処理を開始します。

3.1.3 ディスクユーティリティ

また、書き込みソフトウェアは、各種 CD および DVD を準備、処理するためのユーティリティーツール（ミラーファイルの記録、ディスクの削除、およびオーディオの変換など）も備えています。

3.1.4 ヘルプ

Power2Go の使用についての詳細は、**Help（ヘルプ）**アイコンを参照してください。

3.2 WinDVD

WinDVD では、DVD および VCD を再生できます。

プレーヤーを起動するには、以下の操作を実行します。

「スタート」メニューから**「すべてのプログラム」→ InterVideo WinDVD** の順に選択してプレーヤーを起動します。

WinDVD に関する詳細を見るには、「?」アイコンをクリックしてください。

WinDVD プレーヤーには、以下の基本ボタンが用意されています。

▶ – 再生

◀◀ – 現在のトラックで巻戻し

II – 一時停止

▶▶ – 現在のトラックで早送り

▼ – トラックリスト

■ – 停止

I◀ – 前のトラックに移動

⏏ – 取り出し

▶I – 次のトラックに移動

– ミュート

– 音量

3.3 McAfee Security Center

McAfee VirusScan Center は、コンピュータを悪意ある攻撃から守るためのセキュリティソフトウェアです。ウィルス対策、スパイウェア対策、ファイアフォール技術を組み合わせにより、多面的な攻撃に対するセキュリティを提供します。

注記：実行する前にインターネットに接続してください。

3.3.1 McAfee Security Center の使用

「スタート」メニューから**「すべてのプログラム」→ McAfee → McAfee Security Center** の順に選択してウィルス対策ソフトウェアを起動します。

または、デスクトップ上の **McAfee Security Center** をダブルクリックすることでもウィルス対策ソフトウェアを起動できます。

3.3.2 ウィルスのスキャン

Security Center のホームページで**「Scan」**をクリックします。「スキャンオプション」でタスクを選択してから**「Start」**をクリックしてスキャンプログラムを起動します。スキャンが完了すると、システムスキャンレポートがホップアップ表示されます。検出されたウィルスファイルの一覧が表示されますので、それぞれのファイルを必要に応じて隔離または削除できます。

3.3.3 アップデートの確認

Security Center のホームページで**「Update」**をクリックし、更新情報を確認します。

注記：アップデートを実行する前にインターネットに接続してください。

3.3.4 Help and Support（ヘルプとサポート）

Security Center の操作に関する詳細は、**「Help」**オプションの製品ヘルプ情報を参照してください。ヘルプでは、McAfee Security Center の操作と設定についての説明を読むことができます。

3.4 MediaShow（一部のモデルにしかこのソフトウェアは搭載されていません）

MediaShow は、従来とは異なる方法でメディアの表示や操作を行える画期的なソフトウェアです。MediaShow を使うと、次のような機能を使ってクリエイティブな作品を作成できます。

- 写真およびビデオの表示
- 写真およびビデオの編集とエフェクトの追加
- 写真を使ったスクリーンセーバーおよびスライドショーの作成
- ビデオを使ったプロクオリティのムービーの作成
- Flickr に直接写真をアップロード
- 写真やビデオを MediaShow から直接 E メールで送信
- 写真およびビデオディスクの作成

3.4.1 写真

MediaShow のさまざまな機能を使って写真を管理できます。使用できる機能には、写真を編集する機能、E メールで送信する機能、Flickr にアップロードする機能などがあります。

3.4.2 ビデオ

MediaShow のさまざまな機能を使ってビデオを管理できます。使用できる機能には、ビデオを編集する機能や E メールで送信する機能などがあります。

3.4.3 DVD ディスクの作成

この機能と、ビデオや写真などの素材を組み合わせることで、テーマやメニューなどが追加された、プロクオリティの DVD ディスクを作成できます。DVD ディスクの設定を構成することもできます。

3.5 Lenovo Healthcare Software（一部のモデルにしかこのソフトウェアは搭載されていません）

Lenovo Healthcare Software は、コンピュータを保護し、健全な環境を提供することで、親が子供にコンピュータの正しい使い方を教えるためのスマートなソフトウェアプラットフォームです。

Eyesight Protection（視力保護）と Brightness Adjustment（明るさ調整機能）を搭載した Lenovo Healthcare Software は、以下のような機能を提供します。

- 子供がコンピュータを操作中 、子供の頭とコンピュータのディスプレイとの距離を自動的に測定し、常に適切な距離を保つよう促します。
- 周囲の環境に合わせて、コンピュータのディスプレイの明るさを自動調整します。
- 子供がコンピュータを操作中、子供が適切な姿勢を保つよう促します。**Lenovo Healthcare Software** は、子供の背骨と視力が正しく成長できるよう保護します（これらの機能を使用するには **Lenovo PC Bright Eye** カメラが必要です。）

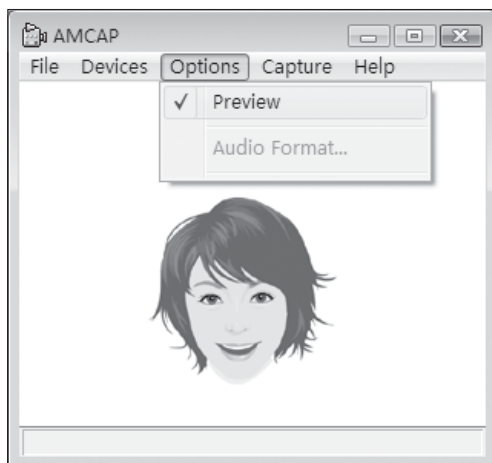
3.5.1 Eyesight Protection の設定

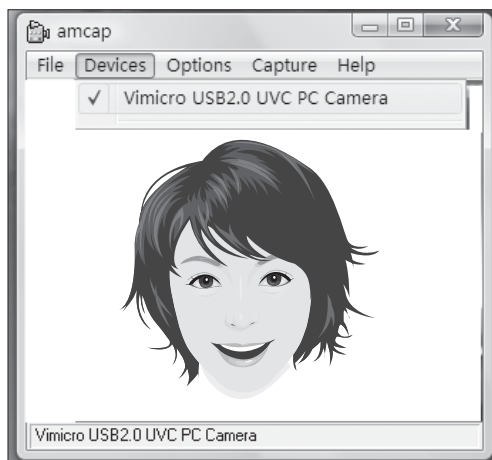
1. **Lenovo PC Bright Eye** カメラと **Lenovo Healthcare Software** は、ユーザーとディスプレイの間に、適切な距離が保たれるよう連結して作動します。また、ディスプレイの明るさを快適なレベルに自動調整してオペレータの視力を保護します。
2. この機能は、**Lenovo PC Bright Eye** カメラが搭載されているコンピュータでしか利用できません。また、この機能はカメラをインストールした後のみ有効となります。
3. **Lenovo PC Bright Eye** のインストールに関する詳細は、本書の「Installation

Guide for **Lenovo PC Bright Eye Camera**」を参照してください。

4. このソフトウェアを使用する前に、必ずウェブカメラのピッチ角を適切な位置に調整してください。

このソフトウェアを使用するには、以下の操作を行います。

1)「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→ **Lenovo USB2.0 UVC Camera** → **vmcap** の順にクリックします。

2) ポップアップウィンドウで「**Options**」→「**Preview**」の順に選択し、ビデオキャプチャウィンドウに画像を表示します。

注記：AMCAP ビデオキャプチャウィンドウに画像が表示されない場合は、プレビューオプションが選択されていることを確認してください。

3) **「Devices」→「Vimicro USB 2.0 UVC PC Camera」**が選択されていることを確認します。このオプションで他のデバイスが選択されている場合は、選択を解除します。「**Vimicro USB2.0 UVC PC カメラ**」デバイスのみを選択し、ウィンドウにカメラの画像を表示します。Lenovo PC Bright Eye カメラで撮影した画像がビデオキャプチャウィンドウに表示されます。カメラの位置とピッチ角を調整して、顔全体がビデオキャプチャウィンドウに表示されるようにします。これで **Lenovo PC Bright Eye カメラ** と **Lenovo Healthcare Software** が正しく設定されました。

5. **「スタート」→「すべてのプログラム」→ Lenovo → Lenovo Healthcare Software** の順にクリックします。
6. **Eyesight Protection** または **Brightness Adjustment** をクリックしてカメラを調整します。

3.5.2 Distance Setup（距離の設定）

1. 使用するディスプレイのサイズに従ってディスプレイの種類を選択します。
2. 「Healthy Viewing Distance Selection（正常な視聴距離を選択する）」を選択してのユーザーとコンピュータディスプレイ、間の距離を設定します。

   デフォルトでは、既定の値が選択されています。ご使用の環境に合わせて視聴距離を調整してください。
3. 「Response Time Setting（応答時間の設定）」を選択して、ユーザーとディスプレイの間の距離が、適切な視聴距離より近くなった際にアラームが鳴るまでの時間を設定します。

3.5.3 明るさの調整

1. 周辺の明るさに合わせてディスプレイの明るさを調整します。
2. 周辺の明るさには 3 つのレベル（Dim, Moderate, Bright（薄暗い、適度、明るい）が用意されています。
3. 初めてコンピュータを使う際は、周辺の明るさに合わせてディスプレイの明るさを調整してください。
4. 周辺の明るさレベルに対して、推奨されるディスプレイの明るさがデフォルトで設定されます。ディスプレイの明るさを快適なレベルに調整してください。
5. 明るさの調整が完了すると、周辺の明るさレベルに従ってディスプレイの明るさが自動的に変更されます。

3.5.4 Lenovo Bright Eye カメラの注意事項

1. カメラのレンズにカバーが付いたままになっていないことを確認します。
2. ユーザーの目の位置に障害物がないこと確認します。
（ユーザーとモニタ間の距離を検出する機能は、ユーザーの目の位置を元に監視されます。したがって、ユーザーの目の位置に障害物や強い反射があると、距離の測定に影響する場合があります。）

   また､メガネをかけていると､顔の画像認識の精度に影響する場合があります。
3. カメラの距離検出の限界：

   最小距離：約 20 センチ（7.90 インチ）

   最大距離：約 70 センチ（27.55 インチ）

   ピッチ角（顔の縦方向の回転角範囲）：

   仰角：20°

   俯角：30°

   水平ピッチ角（顔の横方向の回転角範囲）：-20~+20°

第 4 章

システムメンテナンスおよびリカバリ

この章には以下のトピックが含まれています。

➤ 日次メンテナンスおよびツールの指示

1
2
3
4
5

4.1 システムの復元

システムでは、誤った操作や追加ソフトウェアのインストールなどにより問題が発生する場合があります。問題が、初期インストールされたソフトウェアにおいて発生した場合、システムバックアップおよび復元機能を使用することによって、システムを復元することができます。

注記：既存のシステム設定は、復元後に変更されます。復元されたシステムの設定をチェックし、重要な設定項目が変更されてしまっていないかを確認してください。確認してください。

以下の手順に従って、ソフトウェアを既知の機能レベルに復元します。

1. **「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「システムの復元」**の順にクリックします。
2. 推奨される復元ポイントを選択、またはポップアップボックスから別のリカバリ時間を選択します。システムが正しく実行されていた最近の日付を選択します。

   「次へ」をクリックして続行します。
3. システムは復元処理を開始します。すべての処理が完了すると、復元が正常に完了したことを通知するメッセージが表示されます。

4.2 バックアップおよび復元

安全のため、追加のソフトウェアをインストールする前に、現在のシステムの状態をバックアップするか、あるいはシステム設定を変更することができます。現在のシステムの状態をバックアップするには、以下の操作を行います。

1. **「スタート」→「すべてのプログラム」→「メンテナンス」→「バックアップと復元」の順にクリックします。**
2. バックアップの場所を選択します。**「次へ」**をクリックして、指示に従って処理を続けます。

4.3 ディスクのクリーンアップ

次の作業を定期的に実行することで、ディスクをクリーンアップし、コンピュータのパフォーマンスを改善することができます。

1）**「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスクのクリーンアップ」**の順にクリックします。

2. クリーンアップするディスクを選択します。
3. **「OK」**ボタンをクリックして、クリーンアップ処理を開始します。

4.4 ディスクエラーのチェックと修正

システムを適切な状態に維持するには、以下の作業を実行して定期的にハードディスクをチェックし、エラーを修正する必要があります。

1. 再編成するハードディスクドライブ（HDD）のアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから「プロパティ」を選択します。
2. **「ツール」**タブを選択して**「チェックする」**をクリックします。
3. ディスクの検査項目をチェックして、**「開始」**をクリックします。

注記：コンピュータを再起動して初期化するまでは、エラーチェックを開始できません。

4.5 ディスクの最適化

ディスクのフラグメントは、ディスク上に散在する 小さな未使用のストレージ領域です。システムはこれらの「ブランク」スペースを直接再利用できないため、システム操作により未使用のストレージギャップが増えた結果、システムパフォーマンスの低下を引き起こします。ディスクストレージを最適化するには、以下の操作を行います。

1. 再編成するハードディスクドライブ（HDD）のアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから**「プロパティ」**を選択します。
2. ディスクプロパティから「ツール」タブを選択して**「最適化する」**を選択します。
3. 最適化プログラムによって使用される時間および設定を選択し、最適化プログラムを開始します。ハードディスクドライブをの状態によっては、処理にに長時間を要する場合があります（場合によっては 1 時間以上）。

4.6 日次メンテナンスタスクの実行

コンピュータおよび周辺機器のクリーニング

コンピュータおよび周辺機器の多くは、高度な集積回路によって構成されているため、コンピュータの周りを定期的に清掃して、ほこりがたまらないようにすることが非常に重要です。コンピュータおよび周辺機器を掃除するには以下の道具が必要です。掃除機、柔らかい布、きれいな水（純水推奨）、綿棒。

注記：コンピュータを清掃する前に、コンピュータの電源をコンセントから抜いてください。コンピュータは、水で湿らせた柔らかい布で清掃します。可燃性物質が含まれている可能性がある液体またはエアゾールクリーナーは使用しないでください。

注記：コンピュータまたはディスプレイへの損傷を避けるため、洗浄液をディスプレイに直接スプレーしないでください。ディスプレイのクリーニング専用の製品のみを使用し、製品付属の取扱説明書に従ってください。

コンピュータおよび周辺機器は通常以下の方法で清掃します。

- 柔らかい布を使用してコンピュータ、ディスプレイ、プリンター、スピーカー、およびマウスの表面のほこりを取り除きます。
- これらの方法では届かない場所の清掃には、電気掃除機を使用します。
- キーボードをしっかりとクリーニングするには、コンピュータをシャットダウンしてから、湿らせた布で軽くふきます。
- 乾くまでは、キーボードを使用しないでください。

以下のことを行ってはなりません。

- コンピュータに水をこぼす
- 水をたっぷり含んだ布を使用する
- モニタの表面またはコンピュータ内部に、水を直接スプレーする

LCD ディスプレイは、必ず毎日お手入れすることをお勧めします。乾いた布でディスプレイおよびキーボードからほこりを落とします。表面を清潔に保ち、油汚れが付かないようにします。

5

第 5 章

トラブルシューティングとセットアップの確認

この章には以下のトピックが含まれています。

➤ トラブルシューティングおよび問題の解決

注記：本書のTVチューナーカードに関する説明は、TVチューナーカードを搭載したマシンのみが対象です。TVチューナーカードを搭載していないマシンには適用されません。

1 2 3 4 5

問題の解決

コンピュータの問題を判別するには、以下のヒントに従ってください。

- 問題が発生する前に部品を追加または取り外した場合は、取り付け手順を確認し、部品が正しく取り付けられているかを確認します。
- 周辺機器が機能しない場合は、デバイスが正しく接続されているかを確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージを正確に書き留めます。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断し、解決する際に役立つ場合があります。
- プログラム内でエラーメッセージが表示された場合は、プログラムの資料を参照します。

注記：本書の手順は、Windows のデフォルト表示用ですので、Lenovo® コンピュータを Windows クラシック表示に設定している場合、適用されない可能性があります。

5.1 表示問題のトラブルシューティング

問題：ディスプレイにブランク画面が表示される、または映像が表示されない

トラブルシューティングおよび問題の解決：

LCD 画面がオンになっていることを確認します。オンになっていない場合は、「LCD ON/OFF」ボタンを押して、LCD をオンにします。

問題が解決しない場合には、Lenovo Customer Service に連絡してください。

問題：ディスプレイのプロパティ設定を変更する必要がある

ディスプレイの背景とアイコンプロパティの設定 ：

1. アイコンを除くデスクトップ上の任意の場所を右クリックし、ポップアップメニューから「プロパティ」を選択します。
2. 該当するオプションを選択することで、以下の作業を行えます。
   - デスクトップの背景を変更する
   - スクリーンセーバーを選択する
   - アイコンと文字の色および外観のオプションを選択する
   - **「ディスプレイの設定」**オプションを使用して、解像度および色を設定する

問題：画面上のさざ波

トラブルシューティングおよび問題の解決：

1. コンピュータから 1 メートル以内に、磁気干渉の恐れのある電子機器（冷蔵

庫、扇風機、ドライヤー、無停電電源装置、レギュレーター、蛍光灯、他のコンピュータなど）がないか確認します。
2. 干渉の可能性がある電子機器をコンピュータから遠ざけます。
3. 問題が解決しない場合には、Lenovo サービスに連絡してください。

5.2 オーディオ問題のトラブルシューティング

問題：内蔵スピーカーから音が出ない

トラブルシューティングおよび問題の解決：

- Windows の音量制御を調整します — 画面の右下隅の「スピーカー」アイコンをダブルクリックします。音量が小さく、あるいはミュートミュートになっていないことを確認します。音量、低音、および高音域のコントロールを調整し、ディストーションを除去します。
- オーディオドライバを再インストールします
- ヘッドホンコネクタからヘッドホンを取り外します — これは、ヘッドホンがコンピュータ側面のコネクタに接続されていると自動的にスピーカー出力が無効になるためです。

問題：ヘッドホンから音が聞こえない

トラブルシューティングおよび問題の解決：

- ヘッドホンのケーブル接続を確認します。ヘッドホンのケーブルがヘッドホンコネクタにしっかり挿入されていることを確認します。
- Windows の音量制御を調整します。画面の右下隅の「スピーカー」アイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が小さく、あるいはミュートミュートになっていないことを確認します。

5.3 ソフトウェア問題のトラブルシューティング

問題：実行中のプログラムを正常に終了できない

トラブルシューティングおよび問題の解決：

1. 「Ctrl」、「Alt」、および「Delete」を同時に押して、「タスク マネージャ」ウィンドウを開きます。
2. 「アプリケーション」タブを選択し、問題のプログラムを選択して、「タスクの終了」ボタンをクリックします。

問題：プログラムをインストールまたはアンインストールする必要がある

問題の解決：

インストール中は絶対、にシステムの電源を切るなどの操作は行わないでください。そのような操作は、システムプログラムの障害の原因となるほか、最悪の場合、システム初期化が行えなくなる可能性があります。

アンインストール処理中は、絶対にファイルやフォルダを削除しないでください。そのような操作はシステムに悪影響を及ぼし、システム全体の誤動作の原因となる場合があります。

以下の手順に従って、プログラムを正しくアンインストールしてください。

1. プログラムを削除する前に、関連するすべてのドキュメントおよびシステム設定をバックアップします。
2. プログラムに独自のアンインストーラーがある場合は、それを起動してプログラムをアンインストールします。
3. プログラムに独自のアンインストーラーがない場合は、**「スタート」**メニューから「コントロール パネル」を選択します。
4. **「コントロール パネル」**から**「プログラムと機能」**を選択します。
5. **「プログラムと機能」**ダイアログボックスで該当するプログラムを選択し、**「アンインストールと変更」**を選択します。
6. 画面の指示に従って、ソフトウェアをアンインストールします。

5.4 光学式ドライブおよびハードディスク問題のトラブルシューティング

問題：光学式ドライブが CD/DVD を読み込めない

トラブルシューティングおよび問題の解決：

1. オペレーティングシステムのリソース マネージャに光学式ドライブのアイコンがあるかどうかを確認します。ない場合は、コンピュータを再起動します。再起動してもアイコンがない場合は、Lenovo サービスに連絡してください。アイコンがある場合は、次のステップに進みます。
2. CD/DVD がドライブに正しく挿入されていることを確認してください。正しく挿入されていない場合は、CD または DVD を挿入しなおします。正しく挿入されている場合は、次のステップに進みます。
3. コンピュータ付属の仕様書を確認し、この光学式ドライブが、挿入されているタイプの CD または DVD を読み込める仕様かどうかを確認します。
4. 読み込めない場合は、コンピュータに付属の CD/DVD など、間違いなく読み込み可能な CD/DVD と交換します。
5. それでも読み込めない場合は、CD/DVD の記録面を目視でチェックし、異常がないかどうかを確認します。

問題：システムが表示しているハードディスクの容量が実際にあるはずの、通常の容量より少ない

トラブルシューティングおよび問題の解決：OneKey Recovery 機能を備えたコンピュータの場合、システムリカバリ機能が一定のハードディスクスペースを占有します。このため、ハードディスク容量は若干少なくなります。

技術的な補足説明：ハードディスクの仕様上の容量は 10 進法による 1000 バイト換算で計算されます。しかし、実際のハードディスク容量は 2 進法による 1024 換算で計算されます（例えば、仕様上の容量 1G は 1000M ですが、実際の容量 1G は 1024M となります）。

Windows で表示されるハードディスクの容量は、以下の例に従って計算できます。

表示されるハードディスクの容量は 40G ですが、実際の容量は、40 x 1000 x 1000 x1000/（1024 x 1024 x 1024）= 37G となります。

3G のサービス区画 - 3 x 1000 x 1000 x 1000/（1024 x 1024 x 1024）= 2.79G を差し引くと、システムで表示されるハードディスクの容量が得られます。

この方法で求められるハードディスクの容量は、合計の四捨五入により実際の容量とは多少異なります。

5.5 トラブルシューティングに関する特殊事項

次の情報は、システムの問題を判別する際に有用となる場合があるので、必ず記録しておいてください。

1. ソフトウェアのシリアル番号。シリアル番号は、コンピュータに付随する番号で、各メーカーが個別に提供します。ヘルプセンターでは、この番号を検索することはできません。
2. このコンピュータモデルのドライバは、Windows 7 システムのみをサポートしています。
3. Windows Media Center を使用してテレビを視聴する場合、特に以下の点にご注意ください。
   - 以下の いずれか場合、チャンネルリストを再度保存する必要があります。
     a. テレビ信号をデジタルからアナログに変更した場合、デジタルテレビ用に保存したチャンネルリストが削除されます。再びデジタルテレビを視聴したい場合は、新しいチャンネルリストを作成して保存する必要があります。
     b. テレビ信号をアナログからデジタルに変更した場合、アナログテレビ用に保存したチャンネルリストは削除されます。再びアナログテレビを視聴したい場合は、新しいチャンネルリストを作成して保存する必要があります。
   - 文字多重放送を視聴するには、まず TV チューナー入力信号をアナログに設定する必要があります。